



## 「姉妹校との相互交流」 新たな四半世紀に向かって

成章高等学校

●ジョージタウン市役所で記念撮影



ケンタッキー州ジョージタウン市にあるスコットカウンティ高校と姉妹校提携を結んでから今年で25年が過ぎ、提携の翌年から毎年10名の在校生を、約10日間の日程で派遣してきました。生徒たちはホームステイをしながら、新学期が始まったばかりのスコット高校の授業に出席して、テレビでしか見たことのないアメリカの学校生活をじかに体験しています。諸事情により中止された2年を除き、これまでに230名の生徒がこの貴重な交流事業に参加しました。

また、スコット高校の生徒たちが成章高校を訪れて、日本の学校生活を体験する交流プログラムも順調に続いており、今年度は6月4日(月)から2週間の日程でスコット高校の生徒5名が、日本の学校生活を体験しました。

### ●第25回スコット高校短期研修

本年度の短期研修は、8月19日(金)から29日(月)の11日間で実施され、1年から3年の生徒10名が参加しました。研修期間中、生徒たちはホームステイ先に滞在し、スコット高校には4日間登校しました。その間、実際のアメリカの授業を受けたり、日本語クラスのアシスタントとして参加し、現地の高校生と交流を深めました。

また、ジョージタウン市長表敬訪問、最新の小学校や専門高校の見学、体験学習など、多くの貴重な経験をしました。今年で25回目となった短期研修プログラムは、過去の経験を生かし、工夫が加えられ充実したものとなりました。生徒全員が「ここで勉強したい。」「もっとアメリカにいたい。」というように、満足度の高い研修になりました。この貴重な体験を生かし、自分を高められるよう努力してほしいと思います。



●スコット高校の日本語クラスにて



●空港でホストファミリーとともに

### ●生徒たちの感想

今回の研修では、乗馬や現地の高校生の学校生活が体験でき、温かいホストファミリーにも出会え、一生忘れることのできないものになりました。1・2年生の人はぜひ来年挑戦してください。

3年 宮崎日和

アメリカに行ってさまざまなことを学びました。一番印象に残っているのは日本とは全く違う学校生活です。放課が5分だけで、飲食自由、生徒一人ひとりが自分の意見をしっかり持って発言していたことに驚きました。この経験を生かし、もっと英語を勉強してまたアメリカに行きたいです。

3年 林あかり

言葉は理解できなかったけれど、学校全体が家族のような信頼に支えられていることがはっきり分かりました。またぜひ、ここに戻りたいです。

スコット高校  
 Madeline Beglinger  
 (マディー)